

「福生市英語教育推進計画」について

【策定の背景】

自国の文化理解を前提に、国際的な視野に立ち、グローバル化の進展の中で活躍できる力を育てる。

平成 26 年度ふっさっ子未来会議報告書

「すべては ふっさっ子の未来のために」（未来提言 2）

東京都英語教育推進地域に指定

小学校英語授業教科化に向けた先進的取組
本市の研究成果を活かしてタブレットの活用を検討

東京都英語教育推進リーダーを2名配置

小学校英語授業教科化に向けた先導的役割
市内小学校英語教員の指導力向上への支援

～福生市英語教育推進計画の6本の柱立て～

1 組織的な英語教育推進体制の確立

(1) 「英語教育推進委員会」の常設

市内全小・中学校の英語教育推進担当教員から構成される委員会を常設し、月1回開催。本市英語教育推進の中心的機関として位置付ける。

(2) 東京都英語教育推進リーダーの活用

都の指名を受けた2名の教員が市内全小学校の英語授業の教科化に向けて巡回等の積極的支援。

2 小・中学校英語教育担当教員の指導力向上

(1) 市内全小・中学校の英語授業観察

英語教育推進担当主幹と都英語教育推進リーダーが市内全小・中学校の英語授業を観察し、指導・助言。

(2) 本市独自の英語研修体系の整備

平成 28 年度より、英語教育担当全教員を対象とした夏季必修研修を実施。

3 ALT を活用した英語教育の展開

(1) 全中学校への常駐配置

各校年間最大 200 日の配置。

(2) 全小学校への巡回配置

各校配置日は 7 時間 45 分勤務。

(3) 授業以外での活用

学校行事、部活動、補習等に活用。

4 日本英語検定協会との連携

英検の公費受験の実施

毎年、第 2 回英検について、小学校 6 年生 5 級、中学校 3 年生 3 級を基準に公費負担。教材も無償で提供。

5 義務教育期英語教育の充実

小学校第 1 学年からの英語教育

小学校 1 年生から段階的に指導を実施。小学校英語授業の教科化に対応。

6 学校環境の英語化

英語があふれる学校づくり

児童・生徒、教員、ALT が協力して校内の掲示物等、環境の英語化を促進。

【本市の目指す英語力】

- 1 4 技能のバランスのとれた運用力
- 2 積極的に人と交流できるコミュニケーション能力
- 3 日本や福生のよさについて自分の言葉で伝えられる発信力

【5年後の児童・生徒像】

自分の考えや行動について自信と誇りをもち、グローバル化する社会においても、積極的に人とコミュニケーションが図れる資質・能力を身に付けている。